



第64回円通塾

人生観と人生が激変する 心包・三焦の認識と活用法



五臓六腑とよく言われますが、本当は六臓六腑が正解です。

ただ、六臓目の心包と六腑目の三焦の実体については、
諸説あるも謎でした…

六角田中医院では、発生学や細胞生物学などの導入で
その謎を解くことができました。

そして、心包・三焦の理解と活用により、
人生観と人生が激変します！

興味のある方は、ぜひご参加ください^{★★}
〔詳細は裏面をご覧ください。〕

日時：平成31年4月13日（土）

午後2時30分～4時30分

講師：六角田中医院 院長 田中実

場所：六角田中医院 待合室

参加費：3,000円（豊富な資料付き）

申し込み：六角健康サロン受付へ直接

またはお電話ください。

☎ 075-253-3777

※定員が御座いますので必ずご予約ください。



講座の詳細内容は裏面をご覧ください→→

第 64 回円通塾（詳細）

一心包・三焦の認識が導くこと一

- ① 「心包・三焦は表裏を為して共に”名ありて形なし”」
片や「三焦は表裏を為す臓を持たない”孤腑”」、
「三焦は全身の上下内外をつなぐ”油膜”」等の意味が分かる。
- ② 心包・三焦は、皮膚感覚・腸感覚 [gut feeling]・内臓感覚、
直観、予知、テレパシー、0-リングテスト、言霊・音霊・形霊、
融通念仏、祈りや祭祀等々と密接不離の関係にある。
- ③ 心包・三焦の活用により、医が本来は鑿で東洋医 [鑿] 学が
道・儒・仏の三教に発すること、氣の働き抜きに東洋鑿学は
語れないこと等が体感的に分かる。
- ④ 心包・三焦の理解により、自他内外一如で誰もが
我即宇宙・天上天下唯我独尊であることが分かる。
- ⑤ 自分も他人も共に尊いことが分かり、釈迦の前世である
常不軽菩薩の行の意味が分かる『法華経・常不軽菩薩品』。
- ⑥ 天津神 [天に在します我等の父] と
国津神 [地に在します我等の母=サタン] が私たちの中で
生きていることが分かる。
【★サタン=Satan の Sat は Saturday や Saturn の Sat と同じで
Satan は土=母なる大地の象徴。】
- ⑦ なぜ国 = □ + 玉なのかが分かる。
- ⑧ なぜ膚の中に「七+胃」があり、尻の中に九があるのかが分かる。
- ⑨ 医療のシンボルであるアスクレピオスの杖 [蛇が杖を昇る形]
の意味が分かる。

等々。